

人間ドック検査項目一覧表（一日コース）

検査項目	説明	松阪市健診センター
総費用		32,050円
医師診察	問診・打診・聴診等	○
計測(身長・体重・肥満度・BMI等)	肥満度計算	○
腹囲		○
血圧測定	高血圧症、低血圧症	○
心電図	不整脈、冠状動脈硬化、心筋梗塞	○(安静時)
眼底検査	動脈硬化、脳卒中、糖尿病等	○
眼圧検査	緑内障	○
視力検査	近視、遠視、乱視、白内障	○
聽力検査	難聴	○
肺機能検査	気管支・肺の疾患等	
胸部X線(正、側2方向)	気管支・肺の疾患、心臓肥大等	○
胃X線(内は胃カメラ変更可能な場合の追加料金)	胃癌、胃十二指腸潰瘍等	○(8,220円※)
腹部超音波	肝硬変、胆のう癌、胆石等	○
喀痰検査		
血液一般	白血球(WBC)	感染症、炎症等
	赤血球(RBC)	貧血症
	ヘマトクリット(Ht)	貧血症
	MCV	貧血の種類や性質
	MCH	貧血の種類や性質
	MCHC	貧血の種類や性質
	血小板数(Th)or(PL)	止血能力
	血清鉄(Fe)	鉄欠乏性貧血
	血液像	白血球の詳しい検査、白血病等
	血色素量(Hb)	低色素性貧血
	血沈	炎症、貧血等
肝機能	総蛋白(TP)	栄養状態、肝腎臓障害、ネフローゼ
	アルブミン(ALB)	肝硬変、ネフローゼ(肝炎)
	A/G	肝硬変、ネフローゼ(肝炎)
	総ビリルビン(T-Bil)	黄疸の有無
	GOT(AST)	心臓、肝臓の疾患
	GPT(ALT)	心臓、肝臓の疾患
	LDH(乳酸脱水素酵素)	肝、腎、心筋、骨の異常
	AL-P(アルカリオフスファターゼ)	肝、胆管、骨、腎、腸の異常
	γ-GTP	飲酒による肝障害
	LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)	肝臓病
	コリンエステラーゼ(ChE)	脂肪肝、慢性肝炎、薬物中毒
	HBs抗原	ウイルス性B型肝炎
	HCV抗体	ウイルス性C型肝炎
	アミラーゼ(Amy)	膵臓病等
腎機能	尿素窒素(BUN)	腎機能障害
	クレアチニン(CRE)	腎機能障害、筋ジス
	尿酸(UA)	痛風、高尿酸血症、腎障害
	Na・K・Cl・P	
	Ca	
	eGFR	○
脂質	総コレステロール(T-CH)	動脈硬化、高脂血症
	中性脂肪(TG)	高脂血症、糖尿病
	HDL-コレステロール	動脈硬化、高脂血症、運動不足
	LDL-コレステロール	
	Non-HDLコレステロール	
	TC/HDL-C	
炎症	CRP定量	リウマチ疾患、細菌感染症、炎症
	RA	リウマチ疾患
梅毒	TPHA	梅毒検査
	ガラス板法	梅毒検査
	RPR	梅毒検査・免疫疾患
血清	ASO(ASLO)	
	血液型(ABO)	血液型判定
	血液型(Rh)	血液型判定

人間ドック検査項目一覧表（一日コース）

検査項目		説明	松阪市健診センター
糖尿病	空腹時血糖値		
	血糖(GLU)		○
	ヘモグロビンA1c		○
尿検査	尿PH	腎炎、膀胱炎等	
	尿糖	糖尿病、腎性糖尿	○
	尿蛋白	腎臓病、尿道炎等、腎症、糖尿病性腎症	○
	尿潜血	腎臓、膀胱の炎症や結石等	○
	尿ウロビリノーゲン	肝疾患	○
	尿ビリルビン	胆石・胆道がん	
	ケトン体		
	尿比重		
	尿沈渣	腎臓病、尿道炎等、腎症、糖尿病性腎症	○(必要に応じて)
便検査	便潜血	大腸がん	
	便虫卵	回虫、鞭虫等	
	便ヘモグロビン	大腸がん、大腸ポリープ	○(2日法)
心機能	BNP	筋疾患・心筋梗塞・甲状腺機能低下症	○
病理	子宮細胞診	子宮頸部がん	3,080円
	肺がん検診	喀痰細胞診	
その他	肺がん検診	ヘリカルCT	9,250円
	乳がん検診(触診)	触診	
	乳がん検診(超音波)	乳がん超音波	3,080円
	乳がん検診(マンモグラフィ)	乳がんマンモグラフィ	4,110円
	直腸検診	直腸がん	
	骨量測定	骨粗鬆症	
	超音波骨密度検査		○(女性)
	頭部CT	脳腫瘍、脳血管疾患	
	腫瘍マーカー	腫瘍	○(CEA)
	前立腺検診(PSA)	前立腺腫瘍や肥大	○(男性)
	HIV抗体	エイズ検査	
	肝炎検査		
	動脈硬化	ABI・PWV・頸動脈エコー等	
	ヘルコバクターピロリ検査	尿素呼気試験又は便による検査	
	糖尿病	インスリン定量	
	甲状腺超音波		
	頸部超音波		
	HCV-RNA		
	睡眠時無呼吸症候群検診		
	負荷心電図		
	PET-CT		
	頭部MRI・MRA		
	卵巣がん検査		
	免疫学的検査		
	肝がん検査		
	すい臓がん検査		
	腫瘍関連検査 男性用	CEA・CA19-9・PSA	
	腫瘍関連検査 女性用	CEA・CA19-9・CA15-3・CA125	
	甲状腺・頸動脈検査		
	歯科検診		
	甲状腺検査		
	内臓脂肪検査	腹部CTなど	
	血液サラサラ度検査		

※内視鏡検査において、鎮痛剤(セデーション・意識をなくす)が使用できなくなりました。